

活動団体名	一般社団法人 九州循環共生協議会
所在地	福岡県久留米市国分町1448-6
団体の目的	環境保全を含むSDGs事業と経済発展が両立する社会の実現
活動地域	筑後川流域を中心とする九州地方
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	◎地域内資源の活用と活力の再生に向けた、ESG・SDGs課題に取り組む事業者(本業とのリンク、新規事業)の増加＝人口と経済の拡大 ◎脱炭素社会、持続可能な社会への戦略的シフトを通じた「新たな成長」
地域の現状・課題	【地域の現状】 人口の減少。人口はピークの1985年から、2018年時点で約19%減の約53,000人へ。人口減少への対策として、働く場を充実することが必要 【地域の課題】 ◎大量生産・大量消費型の経済とは一線を画す、新たな産業の育成が必要 ◎需要側である都市圏と、ヒト・モノの交流が必要 ◎環境問題やSDGsといった、都市圏の住民や企業と共鳴できる価値観の産業への反映が必要
地域が持つ資源	◎未利用資源としての竹、および、肥沃かつ平坦な農地 ◎空き家を含む稼働率の向上が望まれる施設や温泉 ◎有機栽培農産物、ならびに、そのノウハウ保持者
取組内容	【主体的に取り組む事業】 地球温暖化により北上する放置竹林への適応策として、産業的な竹材活用を通じ、地下茎の拡散を防止し、生物多様性保全・水源涵養機能向上を図る 【プラットフォームの後方支援機能】 市町村との連携を強化し、「クラウドファンディング型ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」を有効に活用し、SDGs・地域循環共生に資する事業を行う、個人・中小企業・非営利団体による、地域課題解決型事業・環境保全型事業・地域資源活用型事業などの資金調達を支援する。同時に、ふるさと納税の返礼品として地域内のモノ・コト商品の流通機会拡大を図る。 【各種団体などとの連携】 地域循環共生圏やSDGsに関わる経済活動・社会活動を普及・周知するため、各種団体との連携を進める。
地域循環共生圏を实践することで想定される効果	(環境)アンダーユース状態の地域自然資源を適度に活用する事による、二次的自然とそれに関連する生物多様性の保全、水源涵養機能向上など (経済)地域資源を活用した脱炭素型・循環型・自然共生型産業の振興 (社会)工業化社会に見られた都市部などへの人口流出の歯止め